

各市町教育委員会教育長 様
各市町立小・中学校長 様

さいたま市立高砂小学校長 石山 大介

第46回公開研究協議会(自主発表)の開催について(最終案内)

このことについて、下記のとおり開催しますので、貴職及び関係職員の参加について御配意を賜りますようお願いいたします。

記

1 研究主題

自己の生き方につなぐ教育課程の工夫改善
～子どもが学びを実感できる授業づくり～

2 日 時 平成30年2月2日(金) 13:00～16:45

3 会 場 さいたま市立高砂小学校
さいたま市浦和区岸町4丁目1番29号 電話048(829)2737

4 指導者 前文教大学教育学部教授 嶋野 道弘 様
さいたま市教育委員会指導主事
さいたま市立植竹小学校 鯨井 幹夫 校長
さいたま市立与野八幡小学校 金銅 孝 校長
さいたま市立北浦和小学校 益子 聡 校長
さいたま市立浦和大里小学校 引間 和彦 校長
さいたま市立上落合小学校 藤澤 太郎 校長
さいたま市立城北小学校 大河内 範一 教頭
さいたま市立木崎小学校 豊島 登 校長
さいたま市立大宮南中学校 永妻 恒男 校長

5 日 程

受付	公開授業	全体会	分科会	講演
13:00 ～ 13:15	13:30 ～ 14:15	14:25 ～ 14:40	14:40 ～ 15:40	15:50 ～ 16:45

6 公開授業等

(1) 公開授業 (13:30~14:15)

教科等	学年・組 授業者	「単元名・題材名等」 授業の見どころ
国語科	2年3組 峯崎 さや	レオ＝レオニ作品を読んで、「わたしの大喜」を家の人に紹介しよう <ul style="list-style-type: none"> 物語の楽しさを味わうことができるように想像して読む力を付ける。 本時は、個の学びで言葉や文とじっくり対話してイメージし、そこから想像を広げたことを基に、交流することを通して新たに言葉や文と対話し、言葉の意味や理解を深めたり、お互いの知識や経験と結び付けたりしてさらに想像を広げて読み、大喜な理由をまとめることができるようにする。
社会科	3年4組 松下 元彦	昔から受けつがれているもの <ul style="list-style-type: none"> 掲示物や動画を活用することで、楽しんで参加している地域の夏祭りに込められている人々の想いや努力を探れるようにする。 実際に夏祭りで使われている道具を見たり、活動している方から話を聞いたりした経験を思い出すことで、自分が地域にかかわっていかうとする思いをゲストティーチャーに伝えられるようにする。
算数科	1年4組 坂西明弥佳	ずをつかって かんがえよう <ul style="list-style-type: none"> 子どもが自ら、問題を図に表し、文中には記されていない数があると気付くことで、図を使って問題を考えるよさを実感できるようにする。 誤答と正答のそれぞれを図と式で表し、問題に照らし合わせて考えを伝え合うことで、問題の意図を正確にとらえ、考えを深められるようにする。
理科	5年2組 新海 智哉	電流がうみ出す力 <ul style="list-style-type: none"> 単元を通した学習問題を設定し、同じ考えをもったグループで話し合いながら問題解決を進めることで、子ども主体の学習活動にする。 実験方法を考えるときは、電磁石に触れ、コイルの巻き数を増やしたり鉄芯を変えたりして、いろいろと試しながら行うことで、自分の考えに妥当性を見だし、見通しをもった活動につなげられるようにする。
音楽科	4年2組 貝瀬 陽子	合唱をたのしもう (歌唱) <ul style="list-style-type: none"> 前次ではユニゾンを整えるためにタブレット端末を活用し、初めての部分二部合唱曲について友達と歌い合いながらイメージに合う表現をつくっていく。 既習曲や鑑賞曲から音楽を形づくっている要素に注目して「音楽をよくする道具」を見付けることで、表現の工夫を意欲的にする。 子どもの感性で道具に命名したり、拡大楽譜に思いや意図を可視化したりすることで、友達との学び合いを深められるようにする。
図画工作科	5年1組 飛知和朋子	かざって すてきな おこのみやき <ul style="list-style-type: none"> 土粘土と色ガラスを組み合わせて生活を飾る焼き物をつくる。 材料とかかわる時間を十分にとることで、土粘土のもつ重量感や、可塑性などに気付き、そこからイメージがふくらむようにする。 切り糸や切り針、のべ棒などの道具を使う面白さに気付き、それらを工夫して使うことで、自分の思いに合った形をつくることができるようにする。
体育科	5年4組 山田 大志	バスケットボール (ゴール型) <ul style="list-style-type: none"> ゲーム前のイメージタイムでは時間配分をチームごとに考え、話し合ったり動いたりしながら課題解決の方法や可能性、自己関与の見通しをもち、主体的に学びを深めていけるようにする。 ゲームを俯瞰的にとらえることのできる思考ツールを活用し、互いの思考を可視化しながら、協働的に学んでいけるようにする。
自立活動	難聴・言語障害 通級指導教室 張替 和子	吃音について考えよう (吃音のある子の指導) <ul style="list-style-type: none"> 個別学習と5、6年生グループ学習を組み合わせ、吃音理解学習を行う。 吃音の状態と吃音に対する感情を「冰山」の絵図に表し、自分の吃音について整理できるようにする。

(2) 全体会 (14:25~14:40)

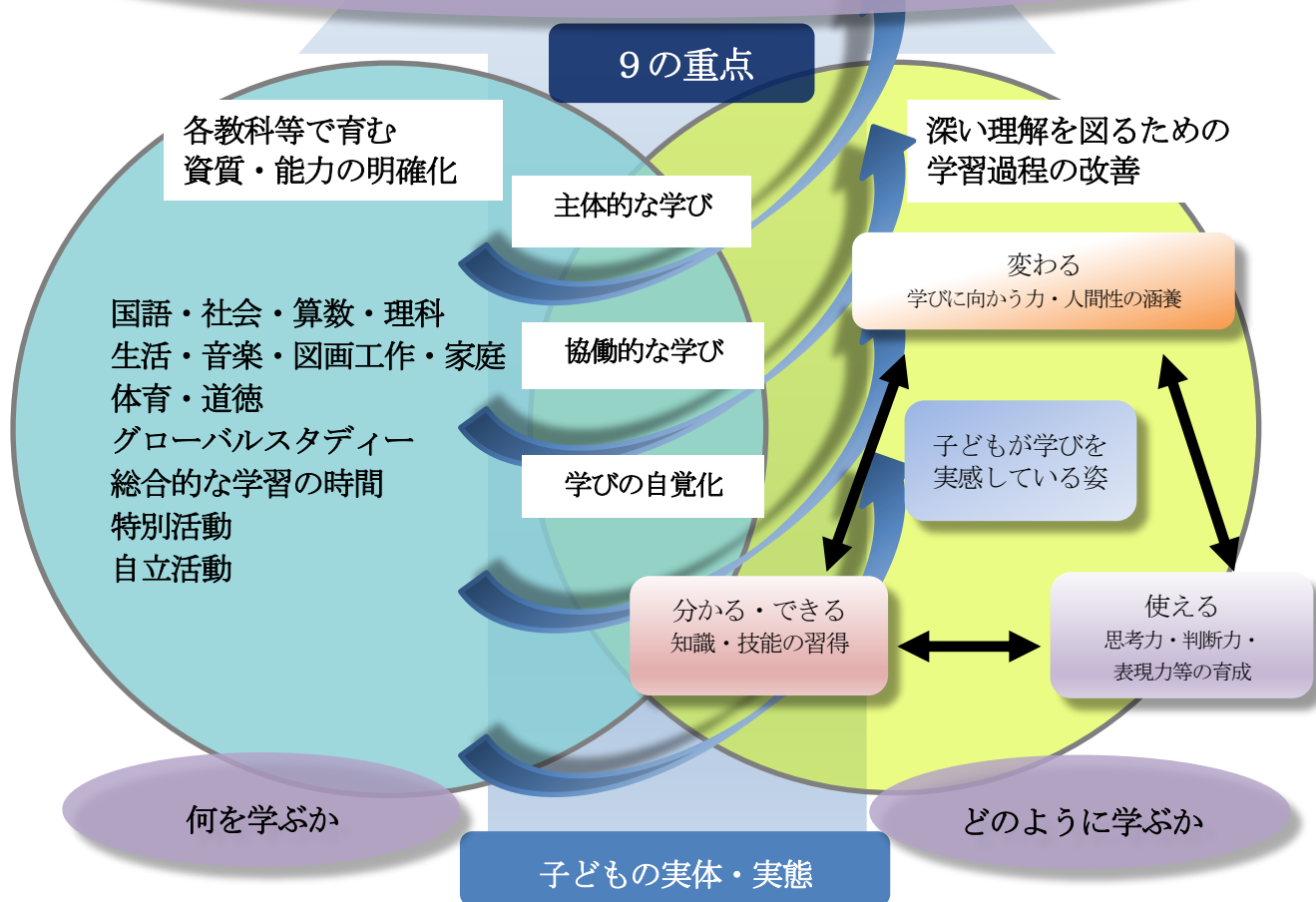
研究主題 自己の生き方につなぐ教育課程の工夫改善

目指す子どもの姿

- 自分が生きていくために必要な知識・技能を身に付けている子ども
- 柔軟に思考し、問題を解決できる子ども
- 豊かに表現し、学んだことが使える子ども
- 他者、自然とかかわり、よりよい自分への変容を目指す子ども

新しい時代に必要となる資質・能力の育成

子どもが学びを実感できる授業づくり



(3) 分科会 (14:40~15:40)

3年計画の研究3年次として、国語、社会、算数、理科、音楽、図画工作、体育、自立活動（特別支援教育）の8つの各教科等パートで、「自己の生き方につなぐ教育課程の工夫改善」に取り組みました。学習活動において、「主体的な学びの充実」「協働的な学びの充実」「学びの自覚化」の「3つの学び」を中心に、「子どもが学びを実感できる授業づくり」の具現化に向けて授業研究を積み重ねてきました。

教科の特質や教材の本質に触れること、他者とかかわりや生活とのつながりに気付くこと、これらを通して、学習の成果から達成感を覚え、学んだことを自覚する子どもの姿を具体化し、8教科等パートを横断する「汎用的な能力」について考え、「自己の生き方につなぐ教育課程」を工夫改善していきます。分科会では、各教科等パートからの提案と、公開授業についての協議を行います。

(4) 講演 (15:50~16:45)

ポジティブ意識が創り出す授業の改革

講師 前文教大学教育学部教授 嶋野 道弘 様

- 7 交通案内 JR浦和駅(京浜東北線・宇都宮線・高崎線・湘南新宿ライン・上野東京ライン)西口より徒歩3分
※駐車場はありません。公共交通機関等を御利用ください。

- 8 その他
- ・申し込まれる方は、申し込み用紙に記入の上、FAXにて送信ください。なお、当日参加も受け付けます。
 - ・資料代は1,000円です。当日、受付にてお支払いください。
 - ・本校ホームページ (<http://takasago-e.saitama-city.ed.jp/index.html>) も御覧ください。



- 9 備考 本研究発表会の開催は、さいたま市教育委員会(平成29年9月20日付け教学指1第6882号)により承認済みです。

第46回 公開研究協議会参加申し込み用紙

さいたま市立高砂小学校 行

FAX番号048(835)1260

学校名									
所在地	〒 -								
連絡先	TEL () -				FAX () -				
職名	氏名	参加予定分科会名(○をお付けください)							
		国語	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	自立
		国語	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	自立
		国語	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	自立
		国語	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	自立
		国語	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	自立